

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北海道大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホッカイドウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F101110100010
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	北海道
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	インターンシップA・B(国内)、国内インターンシップAB
	学部・研究科等名	全学共通科目(学部生)、大学院共通授業科目(大学院生)
	担当教職員名・役職	亀野淳:教授、川上あき:特任講師、太田順也:特定専門職員
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	63
	受入企業等数	40
	受入企業等名	グローヴエンターテイメント(株)、前田道路(株)、(株)サッポロドラッグストアー、リコーITソリューションズ(株)、(株)NJS、あずか税理士法人、(株)植物育種研究所、JTP(株)、厚生労働省、エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社、(株)ドーコン、財務省北海道財務局、こぶし建設(株)、小樽市総合博物館、(株)ジェイ・ブロード、北海道立総合研究機構、(株)ソフトウエア・サイエンス、NTTアノードエナジー(株)、下川町教育委員会、三井住友海上火災保険(株)、(株)日立パワーソリューションズ、(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、国立大学法人北海道大学、他16社
産学協議会の整理上の類型 ※令和5年度の取組については必ず2.~5.のいずれかを選択してください。	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)	
キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動	
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか 1-2.該当する就業体験	1.はい 1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	受入先の業態に応じた業務を社員とともに行う。また、業務の一環として、一部受け入れ企業に応じたプレゼンテーションを実施する。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年 大学院 修士1年 大学院 修士2年

項目	確認事項	届出内容
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 1単位 大学 2単位 大学院 1単位 大学院 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	全学生を対象に夏季休業期間で実施。インターンシップに参加して実社会に触れることによる学習意欲や職業観・勤労観を高めることを目的とする。単位認定は就業体験日数により1～2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規的教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	履修のための説明会、参加目的レポート、複数回の事前研修の実施(企業研究、自己分析、個人情報漏洩リスク、マナー、メール対応、仮説を設定した主体的な参加に向けた内容)、参加にむけた仮説についての個人面談での個別指導、キャリアセンター実施就職ガイダンスと連携した実践的な指導
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	研修成果レポートの提出、面談による振り返り、企業や関係者を交えての成果発表会(グループワーク、個人プレゼンテーション)
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	就業体験先に担当教職員が伺い、企業担当者・学生と面談の上指導を行う
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前及び事後のレポートの提出、事後のアンケートの実施によって効果測定を計っている。また、担当教員との面談において、研修時に設定した各学生の課題や企業研究、行動について指導を行い、アンケートとレポートからは見えにくい教育効果を図っている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日間～20日間(コースによる)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前2日間+就業体験4日間・事後1日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	原則として5日間以上の実施期間を確保しているが、一部実施期間が5日間に足りない例としては、三井住友海上火災保険株式会社において4日間の就業体験を行い、事前学習(2日)事後学習(1日)も合わせて、計7日間のプログラムとして実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいたうえで、実施している。インターンシップ受入前に本学教職員と受け入れ企業で打合せの場を設け意見や方針を伺っている。受け入れ企業担当者を交えての成果発表会に実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus01.academic.hokudai.ac.jp/Syllabi/Public/Syllabus/SylDetail.aspx?langMode=1 https://syllabus01.academic.hokudai.ac.jp/Syllabi/Public/Syllabus/SylDetail.aspx?langMode=1 https://cc.academic.hokudai.ac.jp/internship/
問い合わせ先	大学等名 担当部署名 担当者役職名 担当者氏名 電話番号 メールアドレス	北海道大学 学部部キャリア支援課 インターンシップマネージャー 太田順也 011-706-2140 ccsup2@academic.hokudai.ac.jp